

本質的な問い 災害と向き合い、どう生きるか。

単元名 ためにならんワケないじゃん！～防災フェス開催～

児童生徒の実態

- ・防災学習の集大成として、できることを模索している。
- ・最高学年としての責任をもち、行動できる場を求めている。
- ・情報を取捨選択することができるかと回答した生徒 75%
- ・自信をもって自分の考えを伝えることができると回答した生徒 75%
- ・失敗を恐れず挑戦することができるかと回答した生徒 75%



目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

- ・自分たちにできることを考え、地域に貢献しようとするすることができる。
- ・既存の多くの情報から必要な情報を取捨選択し、分かりやすくまとめ、根拠を示して自信をもって表現することができる。（情報収集力、情報活用力及び批判的思考力）
- ・リーダーとしての役割を自覚し、主体的・協働的に活動しながら粘り強く挑戦を続けることができる。（協働性及び挑戦心）

単元を貫く問い 災害から天応のまちを守るために、何が必要か。

【探究課題 災害に強いまちづくりとその取組】

天応市民センター

地域の人
保護者

民生委員
児童委員

天応学園児童生徒

天応地区自治会

呉工業高等専門学校

学校運営協議会

天応めぐみ園

地域のボランティア団体
「つなごう@天応」

【第3次】（13時間）

課題 防災フェスを開催しよう ～私たちにできること～

個別の問い

- ・プレ開催を実施して見えた課題は何だろう。
- ・各ブースの運営、進行は適切であったか。
- ・見えた課題をどのように改善していくか。
- ・防災フェスを開催して、もっと考えないといけないことは何か。
- ・災害に強いまちをつくるために、どんなことが必要か。
- ・参加者の防災意識、防災知識は高まったか。地域の絆は深まったか。
- ・防災フェス以外に、どんな手段が効果的だろう。
- ・災害に強いまちにしていけるために、自分ができることは何か。

（しかけ）

- ・目的の達成が最優先事項ではあるが、来場者の満足度も重要であることに気付く。
- ・目的に立ち返り、防災フェスの開催によって目標が達成され、効果が得られたかを検証する。

【第2次】（20時間）

個別の問い

課題 防災フェスを開催しよう ～プレフェス開催～

- ・防災フェスの成功とは。失敗とは。
- ・来場者の満足度を表す指標とは。
- ・防災フェスの開催にあたり、どんな準備が必要だろう。
- ・企画だけでなく、運営のことも考えないといけないのではないか。
- ・どのように分担し、計画を進めていけばよいだろう。

防災集会

天応学園 文化祭

防災フェス実行委員会

総務部

企画部

運営部

広報部

（しかけ）

- ・防災フェスの開催に向けて、リハーサルとしてプレフェスを開催し、企画内容や運営方法の課題を明らかにする。
- ・防災フェス実行委員会を発足させ、生徒の主体性を高め、協働的に取り組めるようにする。

デザイナーさん

【第1次】（12時間）

個別の問い

課題 防災イベントを企画しよう ～これまでの学習を踏まえて～

- ・防災に関わる地域の課題は何だろう。
- ・災害に強いまちを実現するために何が必要か。
- ・防災設備を整えることが災害に強いと言えるか。
- ・防災意識と防災知識を高めるには、どうしたらよいか。
- ・どんな目的、どんな内容、どんな形式で伝えるか。
（なぜ） （何を） （どのように）（発信するか）

- ・防災について、参加しやすく、親しみやすい企画にするにはどうすればよいだろう。
- ・私たちにできることは何だろう。
- ・協力が必要であるが、どのように求める。
- ・対象は誰にするか。（どの年齢層）
- ・どんなブースを作って、何を伝えるか。
- ・多くの人に来てもらうために、何をすればよいだろう。

地域ボランティア団体
「つなごう@天応」

呉工業高等専門学校

（しかけ）

- ・昨年度に取り組んだ学習内容をもとに、自分たちができることを考える。
- ・やりたいことだけに目を向けるのではなく、目的を見失わずに、目的に沿った内容、形式になるように意識する。

